

令和5年第5回東大和市議会総務委員会記録

令和5年7月11日（火曜日）

出席委員（8名）

委員長	森田博之君	副委員長	上林真佐恵君
委員	大后治雄君	委員	蜂須賀千雅君
委員	高峰章君	委員	中間建二君
委員	東口正美君	委員	中野志乃夫君

欠席委員（なし）

委員外議員（1名）

4番 関綾子君

議会事務局職員（5名）

事務局長	吉沢寿子君	事務局次長	嶋田淳君
議事係長	吉岡繁樹君	主任	関口百合子君
主任	高石健太君		

出席説明員（なし）

会議に付した案件

（1）所管事務調査

「これからの50年、未来につながる施策（公共施設・スマートシティ・人材育成）」について

午前 9時30分 開議

○委員長（森田博之君） ただいまから令和5年第5回東大和市議会総務委員会を開会いたします。

○委員長（森田博之君） 所管事務調査、「これからの50年、未来につながる施策（公共施設・スマートシティ・人材育成）」について、本件を議題に供します。

前回の委員会において、本件を所管事務調査に決定いたしましたので、本日は、今後具体的にどのような形で調査を進めていくか、御協議をいただきたいと存じます。

事前に所管事務調査の進め方について、正副委員長案を御配付いたしました。改めて私から御説明させていただきます。

総務委員会所管事務調査の進め方についてでございますが、令和5年度、6年度でございますが、令和5年度ということで説明させていただきます。

調査項目といたしましては、「これからの50年、未来につながる施策（公共施設・スマートシティ・人材育成）」についてでございます。

内容につきましては、東大和市公共施設等総合管理計画の進捗状況や、学校統廃合における公共施設機能の複合化について等、市の現状と課題を整理し、先進市の取組を調査研究する、また未来につながる施策として、スマートシティ、人材教育について、先進市の取組についても調査研究する。

スケジュールでございますが、9月定例会の期中におきまして、市の現状や課題として認識していること等の説明を受けたいと思います。委員会での審議内容につきましては、市の現状や課題について説明を受けて、質疑、自由討議を行いたいと思います。

10月、11月において、先進市への視察（宿泊）を予定したいと思います。

12月定例会の期中でございますが、宿泊の視察を踏まえて行政視察について意見交換を行い、取りまとめの参考としたいと思います。

1月、2月におきまして、先進市への視察（日帰り）として行いたいと思います。

3月定例会期中において、行政視察についての意見交換を行い、取りまとめの参考としたいと思います。

正副委員長案についての説明は以上となります。

それでは、ただいまの説明に対して、またそのほかにも御意見等ございましたら、御発言をよろしく願います。

○委員（中間建二君） 今後の進め方ということで御説明いただきまして、このような形で進めていただければよろしいかと思いますが、ただ視察先について、東大和市でも第七小学校と第九小学校の統合に向けた、今もう検討会議が複数回開催をされ、計画に沿った施策が進められているところでもありますので、私の思いとしては、この学校施設の統廃合、また新たな建設の中で、公共施設機能を集約化して実績を上げている事例等を視察できれば参考になるのではないかというふうに考えております。

特に、いわゆる多世代交流のような形の事業が進んでいる自治体等があれば、ぜひ視察をさせていただければありがたいかなというふうに思っております。

また、どうしてもこの学校の面積が、市区町村の場合、公共施設の4割とか5割とかっていうふうにも言われておりますので、学校施設の統合、また建て替えの中での公共施設機能の集約化ということが大きな柱にはなるかと思うんですが、ただ全体的に人口減少の中で、公共施設の機能の在り方とか面積の縮減ということが、

考え方が示されているわけですので、場合によってはこの学校に限らず、公共施設の複合化の中で実績が上げられている事例等を見ることができれば参考になるのではないかというふうに思っております。

以上です。

○委員長（森田博之君） ありがとうございます。

ほかに御意見ございますでしょうか。

○委員（高峰 章君） 公共施設とスマートシティと人材育成っていうのは持っているテーマが違くと、私は思うんですね。一見、この3つは同じようなくくりになるのかもしれませんが、中身はやっぱり違うんじゃないかなと思うんですね。

そうすると、今先進市への候補は2つ挙がっているっていう、質問ですけども、先進市への候補は2つ挙がっているっていう理解でいいわけですかね。2つ。10月、11月と、1月、2月の2つ挙がっているということでもいいわけですかね。（「日程としては」と呼ぶ者あり）

○委員長（森田博之君） はい。

○委員（高峰 章君） そうすると、その2つの市へ行く中で、どれを公共施設としての先進市として位置づけるとか、スマートシティの先進市として位置づけるとか、人材育成の先進市と位置づけるとかという、そういうふうな、ちょっと絞り込みっていうのかな、そういうふうな、その先進市へ一番何を期待するかっていうような観点が必要かなというふうに思いました。

○委員長（森田博之君） じゃ、ちょっと私のほうから。

確かに盛りだくさんなのは私も認識してまして、ちょっと入れ込み過ぎたなという部分もあるんですけども、宿泊研修の場合は1市とは限らなくて、幾つか回るといことも場所によっては可能かなというふうに思っております。ですから、近いところであれば、2泊3日とかであれば、1日目、1回、翌日2回とか、そういうことも可能かなというふうにも思っております。その中でバランス取れていければなというふうに。

（発言する者あり）

○委員（高峰 章君） 今おっしゃる、だから、宿泊の中で2つ、3つ行かれるということですから、その2つ、3つの中で、それぞれの市に、何のテーマを私たちは目的とするかっていうことがある程度明確になっておれば、今委員長おっしゃるようなことでよろしいかと思っておりますけども。

以上です。

○委員長（森田博之君） ありがとうございます。

ほかに御意見等ございますでしょうか。

○委員（上林真佐恵君） 視察先とかそのテーマっていうことで今お話聞いていて、中間委員のほうで、ある程度やっぱり具体的にこういうのが見たいっていう御意見もありましたし、それを尊重して、視察先、ほかの方も具体的にこういうところを見たいということがあれば出していただいた上で、バランス、そこに行けるとは限らないと思いますので、相手市との調整とかもあると思いますので、一旦御希望を出していただいて、近場で、例えば公共施設っていうところで、こういうところがあるっていうことがあれば、そこで。近隣市で例えばスマートシティとか人材育成について力を入れているようなところがあれば、そういうところを見に行ったりとか、そういうふうに調整ができるかと思っておりますので、希望は皆さんから出していただくのがいいかなと思います。それがかなうとはちょっと限らないですけど、もし具体的に思い描いているところがあるなら、ざっくばらんに出していただけたらいいのかなと。そこで、ちょっと場所的に行けるのか行けないのかってことはあると思

いますので、まずは希望を出していただく、あるなら出していただければいいかなと思います。

○委員（東口正美君） すみません、今回未来につながる施策ってということで、テーマはすごく大きいところを、具体的なところに委員長のほうで落とし込んでいただいたかなというふうに思っております。

公共施設につきましては、総務委員会で平成29年、30年と2か年にわたり所管事務調査を行っておりますので、そのときのまとめも、もう一回、目を通しながら、まずはこの9月に現状、そこから時間がたち、またコロナ禍を経てデジタル化が非常に進んだ中で、当時はなかったようなスマートシティという、そのITを使っているということもあると思いますし、またその当時の所管事務調査では、この公共施設の現状の掌握と、それを今後どうしていくのかっていう考え方みたいなところを所管事務調査したかなというふうに、いろんな各市が、先進市が様々な手法を用いてどのようにしていくのかっていう考え方を学んでいたかなと思うんですけども、そこを経て、また東大和市も令和3年から新たな追補という形で資料、公共施設についてもありますけれども、そこを経た上での未来につながる施策ということを見ると、東大和市にとってはこの学校の建て替えを中心とする公共施設の統廃合を柱としながら、その中でスマートシティであったり、そのための人材をどのようにしていくのかっていうようなことにつながっていくのかなというふうに思いますので、広いんですけども、この具体的なこの東大和市が進むべき道に対して、総務委員会として、様々勉強させていただきながら、議会の側でも提言ができればいいのかなというふうに思っておりますので、何とぞ2年間よろしく願いいたします。

すみません、以上です。

○委員長（森田博之君） ありがとうございます。

ほかの委員で御意見等ある方、よろしく申し上げます。

[発言する者なし]

○委員長（森田博之君） 1つだけ訂正をお願いいたします。

事前にお配りしました調査内容なんですけれども、未来につながる施策として、スマートシティ、人材教育ってしてますけど、人材育成ですね、失礼いたしました。

それで、様々な意見ありがとうございました。ちょっと幅広くわたってしまうということもありますので、公共施設、スマートシティ、部署もちょっと違ったりしますので、その辺のことについても進め方をちょっと考えなきゃいけないのかなというふうにも思っております。何かそこについての御意見等ございますでしょうか。

例えば公共施設とスマートシティと人材育成と別々になっておりますけど、聞くに当たって、それぞれ呼んでやるっていうと、ちょっと大きくなってしまいますので、例えば公共施設のことについてはもう結果が出てきていますし、進められていますので、それを柱としてやるという御意見もございましたので、実際にその部分にちょっと市側に説明を求めていくというような方法とかもあるのかなというふうに思っております。スマートシティや人材育成について、特にスマートシティについては計画はありませんので、市に説明を求めるといってもちょっと難しいのかなというふうにも考えております。その辺のことで具体的な進め方っていうのも、もし、よろしければ御意見いただくと助かりますが。

○委員（大后治雄君） 今回あくまでも公共施設に関することが中心で、スマートシティや人材育成というのはそこに関わるものだけをやるのか、それともこの3つのテーマを全て取上げてしまうのかっていうことでまた変わってきちゃうと思うんですよ。だから、そのところで焦点がなるべくばけないように、公共施設があく

までも中心であり、それに関して、これに対するスマートシティの在り方というか、それをつけてくるとか、それから、それに公共施設に関しての人材育成をどうしていくのかっていうところをつけていくのかっていうようなことで、またちょっと方向が変わってきちゃうと思うんですね。だから、そのところをなるべくその焦点をぼかさないようにするためには、やっぱりこれをやるんだっていうところをもうちょっと焦点をはっきりさせたほうがいいのかなと。

逆に、考え方として、ぼかしたまんまやるっていう形にすれば、またいろいろもうちょっと大きなテーマとして捉えて、何ていうのかな、いわゆるその考え方だけを先行させるっていう手もあると思うんですね。ただ、具体性とその考え方っていうところのバランスをどう取っていくかっていうところでまた考え方が変わってくると思いますんで、そのところをどう考えていらっしゃるのかなというのをちょっと伺いたいんですけど。

○委員長（森田博之君） 私の中ではございますけども、ちょっとこう幅広くっていうか、盛りだくさんにちょっとなってしまったというところがありますので、時間が限られている中、あまりにも中途半端になり過ぎてしまうのもいけないということから、公共施設、今これ計画もありますし、進められて課題でもありますので、これをメインとしながら、これはもう割合とするならば、五、六十%ぐらいは使いまして、スマートシティとかについては計画もないので、幅広い意味で、例えば皆様の中で興味があることがあれば、それにフォーカスするという、特に公共施設に絡めなくてもよろしいのかなというふうに思います。

人材育成については、市長もおっしゃっているところ、チャレンジできる職員ということで、新たに今進めておられるようでございますので、それにヒントとなるような、私たちの中でも考えて、こういう、これもちょっと、別に具体的にというよりも、皆様の協議の中で、デジタル人材だったりとか、庁舎の中でやることで、こういうことが面白いんじゃないかみたいなことがあれば、それに、具体的に公共施設と絡めずにいくという形でもいいのかなというふうに思っております。

○委員（大后治雄君） ありがとうございます。

基本的には、正副委員長でお考えになった部分を進めていただければと思うんです。

そういった中で、今伺ったところを私なりに解釈させていただければ、方向性を示せばっていうところだろうと思うんですよ。だから、そのところでもっと大きく捉えて方向性を示すと、いわゆるその具体性を持って何かを示していくのではなくて、方向性を、これからの東大和市をどうしていったほうがいいんだ、いいのかっていうところをこの総務委員会で考えて方向性を示すというような捉え方でいいんですかね。そういったようなところだけ、ちょっと確認だけ、もう一回。

○委員長（森田博之君） そのような形で思っております。

もう一つ、主管課を呼んで説明を受けるっていうことがあるかと思うんですけども、これについては、私の考え的には、公共施設の学校再編のほうに絞っておいていきたいなというふうに思っております。

スマートシティ、人材育成については、皆さんから特に御要望がなければそれを外して、集中して公共施設のほうに充てていきたいなというふうに思っておりますけど。

総務委員会としてどのように皆さんお考えなのかっていうのも、ちょっと御発言があれば、御意見があればいただけたらと思います。

○委員（中間建二君） 今回、正副委員長のほうで様々取りまとめていただいた中で、これからの50年、未来につながる施策ということで、委員長おっしゃるように大きな方向性を示していただいて、これは当然、今先ほど委員長も述べられたように、市長が新しく代わって、市政50年を超えた中での次の50年っていうことも、市

長もおっしゃっている中で、議会の側としてもそこを意識してテーマ設定していただいたというふうに受け止めております。

そういう意味で、今委員長おっしゃったように、当面の課題、喫緊の課題としてのこの公共施設の複合化つというところに主眼を置いて進めていくということは当然それでよろしいかと思いますが、スマートシティや人材育成ということをあえて入れていただいたのも、これからの50年ということも見据えて入れていただいたというふうに受け止めておりますので、この点については、改めて先進市の事例等を調査をしながら、やはり議会の側としては、東大和市の現状と、先進市で実績を上げている自治体との中で、どのような差があるのか、また東大和市でどういう方向性が見いだしていけるのかということをやはり議会の中では議論ができればいいのかなというふうに思いますので、まずは委員長おっしゃるように、公共施設を先行して進めていく中で、順次、スマートシティや人材育成についても進めていただければいいのかなというふうに思います。

○委員長（森田博之君） ありがとうございます。

ほかに御意見等ございますでしょうか。

ほかに資料要求をしたいとか、そういうことがあればおっしゃっていただければ。特にないですか。

[発言する者なし]

○委員長（森田博之君） それでは、所管事務調査の進め方につきましては、ただいま御協議をいただきましたとおり、進めてまいりたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（森田博之君） これをもって、令和5年第5回東大和市議会総務委員会を散会いたします。

午前 9時52分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 森 田 博 之